



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
 公式ツイッター http://twitter.com/inagi_city
 メール配信サービス（登録される方は、左のQRコードから、または「inagicity@emp.ikkr.jp」に空メールを送信してください）

市役所(代表) ☎042-378-2111
 平尾出張所 ☎042-331-6346
 若葉台出張所 ☎042-350-6321
 開庁時間 午前8時30分～午後5時

ごみ減量特集号

▷ 問い合わせ 環境課
 ごみ・リサイクル係
 ☎042-378-2111
 (内線262、263、265)
 ☎042-378-3310
 ✉kankyuu@city.inagi.lg.jp

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 ☎042-377-4781

混ぜればごみ 分ければ資源 ごみの減量と分別にご協力ください！

水を切ってごみの減量を!!

生ごみのうち、約7割を水分が占めています。水分が多いとクリーンセンター多摩川にて焼却する際に、経費と時間がかかり、余計なCO₂の排出の原因にもなります。生ごみを出す時は、水分を十分切ってから出すことで、燃えるごみの減量に大きな効果があります。家庭でできる身近なところからのごみ減量にご協力をお願いします。



▲いらなくなったCDを使って、手を汚さずに簡単水切り

＜家庭でできる生ごみ減量の実践方法例＞

- 1. 生ごみを水に濡らさない**
 ○野菜は洗う前に皮むきをする。
- 2. 乾かしてから出す**
 ○濡れた野菜、ティーバッグなどは、三角コーナーからすぐにごみ袋に入れず、一晩置いてから出す。
- 3. 買い物や料理を工夫する**
 ○買いすぎに注意し計画的にこまめに買い物する。
 ○今まで捨てていた野菜の皮も、なるべくひと工夫して料理に使う（エコクッキング）。
- 4. 水切りネットを上手に使う**
 ○水切りネットに入れただけではまだ生ごみに水分が残っているの、もうひと絞りしてから捨てる。

※市では、生ごみ水切り方法のアイデアを募集しています。環境課窓口や、市ホームページにある用紙に記入後、窓口へ持参していただくか、ファクスやメール等でお送りください。ご協力をお願いします。
 なお、皆さんからお寄せいただいたアイデアは、広報いなぎ等で紹介させていただきます。

有害物や処理困難物の分別徹底をお願いします！

燃えないごみにスプレー缶やカセットボンベなどの有害物やコンクリート塊、バッテリーなどの処理困難物が混在することがあります。ごみ収集車や清掃工場の故障や火災の原因になる恐れがあり、大変危険です。絶対に燃えないごみで出さず、それぞれ決められたルールに従って処分してください。ご協力をお願いします。



▲出火車両から見つかったスプレー缶



▲燃えないごみの袋から見つかったバッテリー

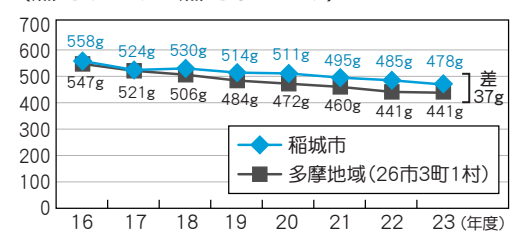
平成23年度 ごみ・資源物収集量

平成23年度
 市収集ごみ・資源物年間収集量

分別	年間収集量
燃えるごみ	13,566 t
燃えないごみ	1,354 t
粗大ごみ	327 t
資源物(※)	3,547 t
合計	18,794 t

※古紙、古布、びん、缶、ペットボトルなど

1人1日当たりのごみ量
 (燃えるごみと燃えないごみ)



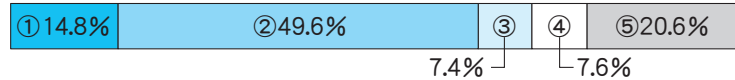
平成23年度の市民1人1日当たりのごみ量（燃えるごみ＋燃えないごみ）は478g（年間約174kg）、多摩地域の1人1日当たりのごみ量は441gでした。

資源の日に出せるものがないかもう一度チェックして、更なるごみ減量にご協力をお願いします。また、小さいごみ袋で出すことにより、袋代の節約にもつながります。

なお、稲城市では、燃えるごみ・燃えないごみを共に焼却しており、焼却熱を発電に活用し、余熱を健康プラザや市立病院の冷暖房等に利用する「サーマルリサイクル」を採用しています。

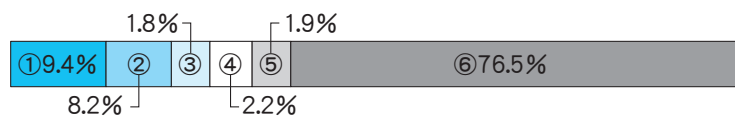
平成23年度ごみ処理経費 (合計約13億3千万円)

- ①ごみを集めてクリーンセンター多摩川へ運ぶ費用 → 197,722千円
- ②クリーンセンター多摩川でごみを燃やしたり、砕いて小さくしたりする費用 → 661,336千円
- ③クリーンセンター多摩川でごみを燃やして残った灰の一部を日の出町の東京たまエコセメント化施設に運び、エコセメントにする費用 → 98,475千円
- ④その他経費（指定収集袋作成、販売経費など） → 101,981千円
- ⑤資源となる古紙やペットボトルなどをリサイクル施設に運んで、再利用を進めるための費用 → 274,410千円



＜財源の内訳＞

- ①一般家庭からのごみ処理手数料 → 124,973千円
- ②許可業者の収集運搬による事業者のごみの手数料 → 108,825千円
- ③粗大ごみ処理手数料 → 23,578千円
- ④資源売却収入 → 29,506千円
- ⑤その他の収入 → 25,931千円
- ⑥一般財源 → 1,021,111千円



使用済みインクカートリッジの回収を行っています

市役所、平尾・若葉台出張所、各文化センター、中央図書館に、使用済みインクカートリッジの専用回収ボックスを設置しています。各施設の開庁・開館時間内に出せますので、年末の年賀状印刷等で使い切ったインクカートリッジは、専用回収ボックスに入れるようお願いします。

※回収対象：メーカー6社（ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、日本ヒューレットパッカー、レックスマーク）の純正品

ごみ Q & A

皆さんから寄せられる問い合わせの中で特に多いものを紹介します。

1 Q.家の前に、雑誌収集の取り残しがまだあるのですが？ A.当日中に回収します。

水曜日のお昼頃に多い問い合わせです。古紙の出し方は、ダンボール・新聞・雑がみ(雑誌など)をそれぞれ束ねていただいています。古紙回収の日は、家庭で分別したものが混ざらないよう、別々の収集車で回収しているので、例えば雑誌の束だけが残されていることがあります。当日中に回収します。



2 Q.シーツや毛布を古布で出していいですか？ A.資源物の古布として出せます。



シーツ、毛布、カーテンなどは古布として出すことができます。古布として回収されるものは、主にそのまま海外などでリユース(再使用)されています。そのため、洋服などは、ボタンやジッパーなど取り除いたりしないで、そのままの状態を出してください。

3 Q.雨が降っても、古紙・古布の収集はしますか？ A.通常どおり回収を行います。

取り残しの恐れがありますので、古紙は特にビニール等で雨除けをする必要はありません。ただ、古布については、雨にぬれると再使用できないため、できる限り次回の収集日に出し直していただくようお願いいたします。なお、古布は、透明・半透明の袋に入れて出してください。



4 Q.粗大ごみを捨てたいのですが、どうすればいいですか？ A.まずは受付収集センターで予約をしてください。



①1辺50cm以上 ②5kg以上 ③3辺(高さ・幅・奥行)の和が100cm以上のいずれかに当てはまると粗大ごみです。粗大ごみの申し込みは、まず、受付収集センターへ電話(☎370-5505)で予約をお願いします。氏名・品目等をお伝えいただければ、収集日と処理手数料をお知らせしますので、取扱店で粗大ごみ処理券を購入してください。

5 Q.テレビを処分したいのですが、どうすればいいですか？ A.家電リサイクル法対象品目なので、市では回収できません。

家電5品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機)は、法律によりリサイクルが義務付けられ、粗大ごみとしての取り扱いができません。小売店が収集運搬業者へ連絡のうえ、処分してください(所定のリサイクル料金と運搬料金が必要です)。



6 Q.庭木を剪定したので処分したいのですが？ A.無料で燃えるごみの日に出せます。



剪定枝や落ち葉は、燃えるごみの収集日に、ひもで縛って2束、または透明・半透明の袋で2袋まで無料で出せます。また、量が多い時は剪定枝チップ化事業もご利用できます。なお、チップ化事業は予約制となっていますので、希望される方は環境課までお申し込みください。また、日程や会場地区は、広報いなぎや市ホームページ等でお知らせしています。チップ化事業へ出された剪定枝は、除草剤などにリサイクルされています。

7 Q.殺虫剤を処分したいのですが？ A.有害物の日に出してください。

昭和63年のオゾン層保護法からフロンガスの使用が禁止され、殺虫剤・カセットコンロやスプレー缶にはフロンの代替品である液化石油ガスが注入されるようになりました。そのため、揮発性が高く、ごみと一緒に収集車に回収されると爆発する恐れがあります。処分する時は、使い切るか、中身がまだ残っていることが作業員にわかるように標記し、有害物の収集日に透明・半透明の袋で出してください。なお、無理なガス抜きは爆発の危険性があるので、おやめください。



8 Q.引っ越してきたのですが、びん・缶・ペットボトルの出し方がわかりません。 A.資源回収ステーションに出してください。

びん・缶・ペットボトルは、戸別回収ではなく、お近くの資源回収ステーションに無料で出せます。回収は週1回となっており、回収日前日の夕方から各ステーションにカゴが設置されますので、袋は使わずに出してください。また、資源物は不純物が混ざるとリサイクルが進みません。中身を空にして水洗いし、キャップ・ラベルを取り外して、つぶしたうえで、袋から出して排出するようお願いします。なお、取り外したキャップやラベルは、燃えるごみとして処分してください。

資源回収ステーション

回収日は ※雨天時は休場、回収作業を中止する場合があります。

びん 毎週 曜日 水でよくすすいでください。中身はなるべく絞り出してください。

缶 毎週 曜日 水でよくすすいでください。中身はなるべく絞り出してください。

ペットボトル 毎週 曜日 水でよくすすいでください。中身はなるべく絞り出してください。

●回収日の朝8時までに袋に入れて出してください。
●ごみ減量とリサイクルの推進にご協力ください。

限りある資源を次世代に

稲城市

9 Q.蛍光灯の出し方は？ A.有害物の日に出してください。

蛍光灯、乾電池や水銀体温計には水銀が使用されており、ごみとして焼却されると大気に放出され、とても有害です。有害物は、月に1回無料で戸別回収しています。また、乾電池は市役所や文化センターに設置されている回収ボックスにも出せます。なお、電球やLEDは有害物質を含まないので、燃えないごみとして出してください。



10 Q.ビデオテープは、燃えるごみか燃えないごみか？ A.燃えるごみとなります。

クリーンセンター多摩川に搬入されているごみは、焼却処理をしています。硬質プラスチックは燃えないごみとして収集した後、破碎処理をしてから焼却していますが、ビデオテープは破碎機に絡まる恐れがあるため、例外的に燃えるごみで出してください。



11 Q.生ごみの処理を自宅で行いたいのですが？ A.生ごみ処理容器の購入をお勧めします。

燃えるごみの4割を占める生ごみを減らすことは、ごみ減量の重要なポイントです。市では、市が指定した生ごみ処理容器と、市販の電動生ごみ処理機を購入する費用の一部を助成しています。環境課、平尾・若葉台出張所、または市ホームページにある申請書で申請し、承認後購入してください。なお、詳細は環境課までお問い合わせください。



▲生ごみ処理容器

12 Q.発泡スチロールを処分したいのですが？ A.回収ボックスをご利用ください。

発泡スチロールや発泡トレイは、市役所や平尾・若葉台出張所などの公共施設に回収ボックスを設置していますので、細かく砕いてから袋に入れて出すようにしてください。また、運ぶことが難しい方は、指定収集袋に入れて燃えるごみとして出すこともできます。なお、食品トレイについては、大型スーパーなどで店頭回収を行っていますので、そちらも併せてご利用ください。



13 Q.ごみの出し方や、減量についての説明会はないのですか？ A.ごみ減量説明会を実施しています。

環境課では、ごみの減量について多くの方々にご理解いただくために、出張講座「ごみ減量説明会」を実施しています。詳細については、環境課までお問い合わせください。

また、お申し込みは、開催希望日の10日前までに、下記の事項を記入のうえ、郵送・ファクスにてお申し込みください。
①グループ名(あれば) ②代表者名 ③住所 ④連絡先 ⑤希望日時(第3希望まで) ⑥予定人数 ⑦予定会場

